

対話文読解 No.2(職場体験の相談)

L1 標準

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L1(都立共通・神奈川の共通問題レベル)

目標時間:18分

満点:100点(自己採点)

次の会話文は、中学生のユイ(Yui)と、ALTのヒル先生(Mr. Hill)のものです。読んで、あとの各問に答えなさい。(①)～(④)に入るものは設問で選びます。

Mr. Hill: Hi, Yui. You look worried. What's the matter?

Yui: Hello, Mr. Hill. Next month, we will have our work experience program. We can choose one place from the list.

Mr. Hill: That sounds exciting. Which places are you interested in?

Yui: Two places — the city library and the nursery school.(①)

Mr. Hill: I see. Then let's think together. First, why the library?

Yui: I love books, and the library is quiet. I often study there on weekends.

Mr. Hill: Good.(②)

Yui: Because I like small children. But I have never taken care of them, so I'm a little afraid.

Mr. Hill: Then, one question. What do you want to be in the future?

Yui: I want to be a teacher. That's my dream.

Mr. Hill: A teacher! Then, in which place can you watch someone teaching something every day?

Yui: (③) They teach songs, words, and how to play together.

Mr. Hill: Right. In the library, you can learn how to work quietly. But in the nursery school, you can watch teachers with your own eyes. For your dream, which experience do you need more?

Yui: The nursery school... Yes. I was choosing the easy place, not the important place.

Mr. Hill: Don't say "easy." Loving books is a great thing. But sometimes, the place you are a little afraid of is the place where you can(④) the most.

Yui: Thank you, Mr. Hill. I'll choose the nursery school. Oh, but what should I do before the program?

Mr. Hill: The teachers there often read picture books to children. Reading aloud is a great practice for a future teacher. Why don't you practice with one picture book?

Yui: Reading picture books aloud... I didn't think of that. I'll borrow some from the library this weekend!

Mr. Hill: Perfect. The library still becomes part of your story.

[注] work experience program 職場体験 / nursery school 保育園 / take care of ～ ～の世話をする / read aloud 音読する・読み聞かせる / picture book 絵本

対話文読解 No.2(職場体験の相談) **L1 標準**

設問 本文の内容について、最も適切なものをア～エから1ずつ選ぼう。

問1(15点) (①)に入る最も適切なものはどれか。 ア I have already decided to go to the library. イ I like neither of them. ウ My friends will choose the same place. エ But I can't decide which is better for me.	()
問2(15点) (②)に入る最も適切なものはどれか。 ア Why don't you stop reading books? イ Then, why are you interested in the nursery school, too? ウ Do you know where the library is? エ Which book did you read last week?	()
問3(15点) (③)に入る最も適切なものはどれか。 ア In the library, I think. イ I can't watch anyone anywhere. ウ The nursery school teachers do. エ You teach English at school.	()
問4(15点) (④)に入る最も適切な語はどれか。 ア grow イ sleep ウ lose エ wait	()
問5(20点) 下線部 I didn't think of that. の that が指す内容として最も適切なものはどれか。 ア 図書館で週末に勉強すること イ 絵本の読み聞かせを練習しておくこと ウ 保育園の先生に手紙を書くこと エ 職場体験をやめること	()
問6(20点) 会話の内容と合っているものはどれか。 ア ユイは、はじめから保育園に行くつもりだった。 イ ヒル先生は、ユイに図書館を選ぶように言った。 ウ ユイの将来の夢は、先生になることである。 エ 職場体験は来週おこなわれる。	()

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 次のページの解説で自己採点 → 得点(/100点) まちがえ
た問題こそ宝。解説の「誤答の切り方」まで読むと、次の1枚で点が変わる。

解答一覧(まず自己採点)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	得点
エ	イ	ウ	ア	イ	ウ	/100

問1 正解 エ(15点) | 会話の最初の空所は「相談の理由」を言う場所

根拠 ユイは worried(困った顔)で、候補を「2つ」挙げている。直後で先生が Then let's think together.(一緒に考えよう)と返す——「決められない」という相談だからこそ出る返事。

誤答の切り方

ア	「もう決めた」なら、一緒に考える必要がない。直後と合わない。
イ	「どちらも好きではない」は interested in(興味がある)と矛盾。
ウ	友達の話はこの会話に出てこない。
エ	「決められない」→「一緒に考えよう」。前後両側に橋がかかる。

🔑 この形式のコツ 冒頭の worried / What's the matter? がある対話では、最初の空所に「悩みの中身」が入ることが多い。悩み→助言→決断、という対話文の全体構造を先に予想して読む。

問2 正解 イ(15点) | 空所が質問なら「直後の答え」から逆算する

根拠 直後のユイの答え = Because I like small children.(小さい子が好きだから)。Because で始まる答えの前には Why の質問がある。図書館の理由はもう聞いたので、次は「保育園の理由」——比較のために両方の理由を聞き出す先生の進め方。

誤答の切り方

ア	「本を読むのをやめたら」は助言として不自然で、直後の Because ともつながらない。
イ	直後の Because I like small children. への質問としてぴったり。
ウ	ユイは「よく図書館に行く」と言った直後。場所を知っているかの質問は不要。
エ	先週の本の話は流れにない。

🔑 この形式のコツ 空所のあとが Because ~ なら、空所は Why ~? Yes/No なら Do/Are ~? —— 答えの形が質問の形を決める。適文補充でいちばん確実な逆算ルート。

問3 正解 ウ(15点) | 質問の中の条件(every day / teaching)に合う答えを選ぶ

根拠 先生の質問＝「どちらの場所なら、誰かが教えている姿を毎日見られる?」。直後にユイは They teach songs, words, and how to play together. (歌や言葉や遊び方を教えている)と続ける——They＝保育園の先生たち。

誤答の切り方

ア	図書館は「静かに働く場所」と説明される側。教える姿の例が続かない。
イ	「どこでも見られない」では直後の They teach ～ と矛盾。
ウ	直後の They の中身になれる唯一の答え。
エ	ヒル先生の話ではなく、ユイが行く場所の話をしている。

🔑 この形式のコツ 答えの直後に代名詞(They / He / It)が続くときは、空所の答えがその代名詞の中身になっているかを確認する。代名詞がつながらない選択肢は即切りできる。

問4 正解 ア(15点) | 励ましのせりふの空所は「プラスの動詞」

根拠 「少しこわいと思う場所こそ、いちばん(④)できる場所だ」という励まし。保育園＝経験がなくて不安だが、夢(先生)のために必要な場所、という流れから、grow(成長する)が入る。

誤答の切り方

ア	grow——「不安な場所こそ成長できる」。会話全体のメッセージと一致。
イ	sleep(眠る)は意味が通らない。
ウ	lose(失う)はマイナスの動詞。励ましにならない。
エ	wait(待つ)——待つ話はどこにもない。

🔑 この形式のコツ 空所を含むせりふが「励まし」か「注意」かを先に判定する。励ましならプラスの動詞、注意ならマイナスの動詞——せりふの温度が語を絞ってくれる。

問5 正解 イ(20点) | that は直前の「提案」を指す

根拠 直前の先生の提案 = Why don't you practice with one picture book?(絵本1冊で読み聞かせの練習をしたら?)。「それは思いつかなかった」→だから「今週末、図書館で絵本を借りる」と行動が続く。

誤答の切り方

ア	週末の図書館の勉強は、ユイがもともとしていること。「思いつかなかった」と合わない。
イ	直前の提案そのまま。直後の行動(絵本を借りる)ともつながる。
ウ	手紙の話は出てこない。
エ	ユイは保育園に「行く」と決めた直後。やめる話はない。

🔑 この形式のコツ Why don't you ~?(~したら?)のあとの that / it は、その提案の中身を指す。「提案→ I didn't think of that → 行動」の3点セットで確かめると確実。

問6 正解 ウ(20点) | 内容一致は「決める前」と「決めた後」を混ぜない

根拠 ユイのせりふ I want to be a teacher. That's my dream. と一致。この夢が、保育園を選ぶ決め手にもなっている。

誤答の切り方

ア	ユイは最初「決められない」状態だった。会話の途中で決めた——時のすり替え。
イ	先生はどちらも選ばせていない。質問で考えさせ、決めたのはユイ自身。
ウ	ユイのせりふそのまま。
エ	職場体験は「来月」(Next month)。時のすり替え。

🔑 この形式のコツ 相談の対話文では「最初の状態」と「最後の決断」が変わる。内容一致の選択肢がどの時点の話かを確認する——「はじめから~するつもりだった」は定番のワナ。

会話の設計図(流れメモ)——復習は「場面の流れ」を自分の言葉で言い直すのが最短

①	悩み = 職場体験の行き先を図書館と保育園で決められない
②	整理 = 図書館の理由(本が好き・慣れている)と保育園の理由(子どもが好き・でも不安)
③	決め手 = 夢は先生→「教えている姿を毎日見られる場所」は保育園
④	気づき = 「楽な場所」ではなく「大切な場所」を選ぶ。不安な場所こそ成長できる
⑤	行動 = 絵本の読み聞かせを練習。図書館も物語の一部になる

もう一段のぼる 「答えの形(Because / Yes / They)から質問を逆算する」は、適文補充の最強ルート。
No.3(プレゼント選び)は、意見が分かれる2人の会話——賛成・反対のせりふの流れを追う型だ。

先生向け・運用ノート チャレンジ欄・キャリア教育と直結(会話約370語。計30分)。「楽な場所と大切な場所」というテーマは職場体験前の指導にそのまま使える。配点は問1~4各15点・問5~6各20点。